

親御さんの競技への介入、制限時間内の動画取り扱いに関してご指摘をいただきましたので、ここに運営としての方針を示したいと思います。

まず、親御さんの介入するに関してですが、こちらの要望・会の方針として親御さんの介入は認めないものとしています。ただし、オンライン開催となりました、今 SRC におきましては、実際にはどれくらいの親御さんの介入があったかを測りかねない部分があります。もちろん目に見える介入がある場合には注意喚起を行った上で、何かしらの罰則を設けるべきであると思います。ただし、先ほども述べた通り、画面の向こう全てを見ることはできません。運営サイドが全ての介入の事実気が付くことができなければ、干渉を追及された方と隠し通せた方、干渉のなかった方とで3者の差異を生むこととなります。ですので、この問題に関しては、選手・親御さんの良心と、弊団体の運営方針を理解、尊重くださっていることを信じる他ありません。親御さんの皆様に関しましては、今後とも弊団体の運営方針をご理解いただき、共に子供たちの成長を見守る立場に立っていただければと思います。

勿論、今回の SRC18 をもとに改善を図り、より公平な SRC 運営仕組むづくりを目指していく所存です。

時間外の提出となった動画の評価に関してですが、弊団体ではルールブックを大会運営の最重要の指針としています。今回ルールブックでは、「提出期限：競技時間内（競技開始から 2 時間以内）」としています。よって時間外に提出となりました動画に関しては、公平性・透明性のある SRC を今後も運営していくためにも、対象外とすべきであると考えます。よって、現時点で提出されている動画全てに関して、時間内のもののみを 3 次予選の選考対象とし、その他は参考記録として扱います。

また、3月12日（土）の SRC 二次予選 1 競技目に関してですが、動画の提出フォーム作成の際に、運営側のミスがありました。そのため、その日の一題目の競技に関してのみ特例として、提出時間を延長いたしました。ただし、各日程ごとに三次予選の選出者を決定するため、各日程での公平性は保たれていますのでご安心ください。

本日(3月13日(日))ですが、運営に物理的不備などなく、現にほとんどの選手が正しい時間に動画・コードファイルの提出を行えています。そのため公平性を帰すためにも、SRC18 では一貫して制限時間を評価の厳密な指針として見てまいります。

選手の方は、今後ともルールブックにのっとり、協議を行っていただければと思います。大会での活躍をサポートー同楽しみにしております。

大会委員長 千葉俊彦

2022.03.13